

目標達成計画

事業所名 社会福祉法人法人 若穂会
グループホーム あい
作成日: 令和元年 5 月 20 日

別紙
2

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップに向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	(運営推進会議を活かした取り組み) 運営推進会議では取り組みや行事の報告が中心となり常態化している。	運営推進会議にできるだけ多くの人に参加してもらいアイデアや幅広い意見をもらう。	参加のメンバーから意見をもらった中で実践できることから職員同士で話し合いサービス向上に活かす。	12か月
2	5	(身体拘束をしないケアの実践) 家族から安全のため車椅子ベルト装着の要望があり、抑制を行う場合がある。	身体拘束弊害等について話し合いを重ねて、抑制の時間が更に少なく抑圧感のない暮らしを支援できるよう職員全員で取り組む。	身体拘束に関するミーティングを定期的実施し、職員の共有認識を図る。三カ月に1回、予測されるリスクを家族と話し合い、納得の上、抑圧感のない自由な暮らしを支援していく。状況変化に応じても繰り返し話し合いを行い理解を深める。	12か月
					か月
					か月
					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo. を記入して下さい。